



2022-2023
国際ロータリーテーマ



イマジン
ロータリー

Rotary

ジェニファー E. ジョーンズ

2022～2023年度 標語
「平和な未来を想像し、行動しよう。」

諫早西ロータリークラブ
会長 川野 弘茂



第1765例会 2022年 12 月 28 日例会記録 NO.23 天候 曇り

【本 日】会員数 48名 出席 40名 欠席 2名 出席率 95.84%
【12/21】会員数 48名 出席 47名 欠席 0名 (MU 0名) 免除 0名 出席率 97.92%

来 訪 者

ゲスト

株式会社Comin'かみん

代表取締役社長 サルヴァドーライ美奈子 様
(サルヴァドーライみなこ)

株式会社H&S シャトレーゼ諫早泉町店

代表取締役 濱下 伸人 様
(はました のぶひと)

会長の時間



川野 弘茂 会長

みなさん、こんにちは。今年も、残すところあと三日になりました。この一年を振り返ってみていかがだったでしょうか。

Forbes Japanによりますと、2022年、印象に残ったニュースランキングは、トップが「ロシア、ウクライナへの軍事侵攻」3位が「物価高・原油高・円安」と暗いニュースが続きますが、4位が「W杯、日本が決勝トーナメント進出」、5位が「エリザベス女王死去」、8位が「新型コロナウイルス感染再拡大」11位が「MLBエンゼルス大谷翔平選手活躍」12位が「冬季北京五輪、過去最多18個のメダル」、16位「イーロン・マスク、Twitter買収」などです。

スポーツ観戦は、活力の源の1つになっているようです。来年に目を向けると、やってみたいこととして1位に旅行。2位に外食、3位に買い物となり、コロナ疲れで外に出たいという欲求を強く感じる結果でした。

私は、この一年、自分の健康に気を付けるようになりました。また、家族と接する時間、過ごす時間を大切にしました。ロータリー活動にも積極的に参加し、幸せな1年でした。これも永井幹事をはじめ、事務の橋本さん、会員の皆さんの協力のおかげと感謝しております。ありがとうございました。みなさんも、よいお年をお迎えください。

会 長／川野 弘茂 幹 事／永井 栄次 創立日／昭和60年2月20日 認証日／昭和60年3月5日
例会場／平安閣 諫早サンプリエール(毎週水曜日) 〒854-0053 諫早市小川町71-1 TEL (0957) 24-3907
事務局／諫早商工会議所内 〒854-0016 諫早市高城町5番10号 TEL (0957) 22-3323
会報委員／毎熊 正太郎・坂本 伸二・宇土 久
HP/<http://isahaya-west.com> E-mail/info@isahaya-west.com

幹 事 報 告

例会変更及び休会なし

【お知らせ】

※ガバナー事務所より

①「2022～2023年度 ロータリーリーダーシップ
研究会(RLI)研修会受講のご案内」

受講対象者：クラブ内のRLI部門の方
RLIに関心をお持ちの方
入会3年未満の方々

日 時：パートⅠ 令和5年2月5日(日)
10時00分開始

パートⅡ 令和5年3月5日(日)
10時00分開始

パートⅢ 令和5年4月2日(日)
10時00分開始

研 修 方 法：webによる研修

登 録 料：テキスト代

受講者1名につき1,000円

登 録 締 切：令和5年1月20日(金)

②「規定審議会改定のお知らせ」

※ガバナーエレクト事務所より(久保次年度会員増強委員長宛)
「地区チーム研修セミナー開催のご案内」

日時：令和5年2月18日(土)

登 録 14:00～15:00

セミナー 15:00～17:00

懇 親 会 17:15～18:45

場所：ホテルオークラJRハウステンボス
(佐世保市ハウステンボス町10番)

※国際ロータリー日本事務局より

「財団室NEWS 2023年1月号」

※ロータリーの友事務所より

「電子版パスワード変更のお知らせ」

※太良嶽山金泉寺より

「太良嶽山金泉寺護持協賛会たより」

スマイルボックス

川野 弘茂君：上半期楽しく活動することができました。
永井幹事をはじめ、会員の皆さんの協力
のおかげと感謝しております。

永井 栄次君：今年最後の例会ですネ。ご協力ありがと
うございました。また本日はサルヴァ
ドーライさん、濱下さん、ようこそお越
しいいただきありがとうございます。お二
人のご入会楽しみにしてます。

古賀 秀次君：今日のウエスト会優勝しました。ニアピン
も2つありました。来年も良い1年に
なります様に。

高瀬 善久君：今年も一年お世話になりました。来年も
宜しくお願い致します。

荒木 公義君：早いもので最終例会となりました。皆さん
良い年をお迎えられます様に！

吉田健一郎君：上半期が終わり、立派な振る舞いの川野
会長、又、会員の協力お疲れ様でした。
来年も宜しくお願いします。

佐藤 幸雄君：今年も後3日となりました。1年間お世話
になりました。来年も宜しくお願いします。

塚原 浩三君：今年1年色々と迷惑をかけまして申し訳
ありませんでした。新年も宜しくお願い
します。

小野 秀喜君：今年も一年、お世話になりました。

岩下 和明君：来年も宜しくお願いします。

吉野 尋隆君：令和5年皆様良い年になりますように。

森 由有君：川野会長、永井幹事、上半期終了しました。
来年も宜しくお願い致します。第2回
ウエスト会で2位に入りました。同伴の
立野さん、佐藤さん有難うございました。

松井 純治君：来年も宜しくお願い致します。

日高 正朗君：ウクライナで始まり、コロナで終わった
一年でした。皆さん、良いお年を!!

清水 淳君：川野会長、永井幹事、上半期はお疲れ様
でした。下半期も宜しくお願いします。
皆様良いお年を...

立野 守君：今年一年コロナにもかからず過ごすこと
が出来ました。来年は良い年になります
様に。

福田 和幸君：会員の皆様、本年も大変お世話になりま
した。川野会長、永井幹事、あと半年宜
しく頑張って下さい。

本日の合計 (12/28)	累 計 額
¥43,000	¥589,250

2022-2023年度 上半期を振り返って



川野 弘茂 会長

2022-2023年度の諫早西ロータリークラブの活動も6ヶ月が経ち、上期を振り返ってと題して、スライドで振り返りたいと思います。

2022年7月 6日、会長幹事所信表明。

2022年8月17日、大久保潔重 諫早市長による諫早市政について講話。

8月24日、久保ガバナー補佐訪問クラブ協議会。

8月25日、ウクライナ人道危機救援金として、諫早市長を通じて、日本赤十字社県支部諫早市地区長へ寄付しました。
諫早西ロータリークラブのみなさんの事業所で実施した募金と、いさはや国際交流センターと連携したバザーの収益金計84万3,460円をウクライナ人道危機救援金として、

諫早市長を通じて、日本赤十字社県支部諫早市地区長へ寄付しました。8月27日の長崎新聞に掲載。

8月31日、上村春甫ガバナー公式訪問。

ひとり親支援に関しては、アンケート調査がすでに実施されています。

諫早公園ツツジ満開プロジェクトは、市の補助金も得られ通年事業となります。

9月 7日、株式会社杵の川酒造 代表取締役 瀬頭 信介 様の講話。

9月11日、ロータリー奉仕デー環境保全事業の諫早公園

第2回諫早西ロータリークラブ旗長崎県ミニラグビー大会（森山ふれあい公園）

9月14日、桜つづみ（本明川河川敷）にて納涼例会。

9月20日、諫早西ロータリークラブ創立40周年記念時計台贈呈記念式典が、JR諫早駅西口にて行われました。諫早西ロータリーの文字が入っており、全会員の氏名が入ると素晴らしい記念になると思います。長崎新聞に掲載。

9月23日、「西九州新幹線」開業。

9月28日、宮本会員「コロナウイルス感染症について」卓話。

10月 1日、2740地区2022-2023年度職業奉仕セミナー「21世紀のロータリーと職業奉仕をどう考えるか」

10月、 第1回、川野会長杯ウエスト会開催。

10月26日、株式会社AirFlight 松崎様「ドローンオペレーター」卓話。

11月16日、米山奨学生卓話 ヤンウォンソク様

11月26日、2022-2023年度、地区大会（佐賀市文化会館）諫早西ロータリークラブが、ロータリー賞受賞クラブとして表彰される。

25年表彰 永井会員。35年表彰 平野会員。

11月30日、バーガー&クレープショップトミーズ 代表 陣野 真理 様「地域活性化のイベントについて。」卓話

12月14日、日赤赤十字社長崎原爆諫早病院へ医療支援の義援金を贈る。

諫早西ロータリークラブ旗ミニバスケットボール大会開会式で依頼している諫早市立諫早吹奏学部へ支援金贈呈。



永井 栄次 幹事

川野会長の下で、会員皆様のご協力によって上期の幹事としての役割を果たす事が出来そうであります。心配してました昨今のコロナ感染症による事業の変更にも大きな影響もなく予定通りにプログラムを消化しておるところです。

7月のガバナー公式訪問をかわきりに、家族親睦納涼例会、毎熊年度から引き継いだウクライナ支援募金・創立40周年記念事業（新幹線開業記念、諫早駅時計台設置）の実施など無事終了することができました。改めて担当委員会の皆さん、お疲れ様でした。

幹事として私の目標は川野年度の運営方針と事業の目標を無事に達成することです。

会員増強の目標は女性会員を含め3名以上に対して2名の退会がありまし

たが、増強委員会並びに会員のご尽力により、年明けにも7名の入会手続をおこなっているところです。

次の目標として、充実した例会を行うことで、SAA・プログラム・親睦委員会との連携を図りつつ、これまで3名の専門職の部外卓話者を招き、充実した例会を行いました。また、ロータリー財団ではポールハリス2名の方のご協力をいただき米山奨学も数名の方のご協力を頂く予定であります。

改めて会員皆様に感謝します。下半期にはミニバスケット大会、大草小児童のダービースクールでの体験交流事業も計画しており皆様のご協力を宜しく願います。



久保 泰正 ガバナー補佐

上半期は、ガバナー公式訪問等お世話になりました。下半期も宜しく願ひ致します。

ロータリーの友 2022 年 12 月号 RI 会長メッセージより



世界的疾患との闘いと希望

2022-23 年度 国際ロータリー (RI) 会長 ジェニファー・ジョーンズ

ザンビアの首都ルサカの郊外で、ロータリーのリーダーたちと会った際に、私はこう尋ねました。「マラリアにかかったことのある方はいますか」。すると全員の手が挙がりました。しかもマラリアにかかった1度目、2度目、3度目の経験について話し出したのです。マラリアは多くの開発途上国において、病気と死亡の主因の一つになっています。

しかしこの方々は恵まれた人たちです。医療を受けられて、命を救う槓を手に入れられたのですから。ザンビアの農村部に暮らす方々とは、状況が全く異なります。私は小さな農村を訪れ、木のベンチに腰かけて、ティモシーとその若い息子のネイサンと話しました。カメラクルーがこの様子を撮影中、ネイサンにマラリアの兆候が現れた時のことをティモシーが話してくれました。近所の医療従事者の家にすぐに連れていき、そこでもらった薬でネイサンは、一命を取り留めたそうです。

ティモシーはまた、数年前に別の息子がマラリアにかかったことを静かに話し始めました。その時は、子どもを抱えて8km以上離れた診療所へと駆け付けなくてはなりません。その子を背負って自転車をこいでいた時に、息子の足が冷たくなって小さな体から力が抜けていくのを感じたと言います。ようやく診療所にたどり着き、助けを求めて叫びましたが、もう手遅れだったそうです。カメラは撮影を止め、その場が静まり返りました。嗚咽しているティモシーを私はしっかりと抱き締めました。「息子を亡くした。息子を亡くしました」と、彼は声を絞り出すようにして言うのでした。

ザンビア滞在中に、これと同じような話を私たちは何度も耳にすることになりました。それでも、希望があります。ザンビアでマラリアと闘う「マラリアのないザンビアのためのパートナー」が大規模プログラム補助金初の対象として選ばれ、人々の命を救っています。ザンビアの二つの州では、2,500人のボランティア医療従事者が地域社会から選出されています。彼らは医療を必要とする人々へ医療を届けるための訓練を受け、マラリアやその他の疾患を診断し、治療することができるようになっています。